

NIIGATA 光のページェント 開催します。

新潟の冬の風物詩「NIIGATA光のページェント」。今年も開催することが決定しました。期間は2020年1月4日(金)から2021年1月31日(日)まで、毎日17:00~24:30まで点灯致します。感染対策の上、ぜひお越しいただければと思います。

このような状況下で、運営資金が集まりにくい状況になっております。

法人は1口1万円、個人は1口3千円で協賛を受け付けております。

ぜひ、ご協力をお願い致します。

詳しく弊社スタッフまで。



「Eco列車でいこう!」～第133回～ with コロナの電車旅。

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです!)



8月から、JR新潟支社のイベント列車(「SLばんえつ物語号」「海里」など)の運行が再開された。コロナの対策をとった列車旅はどのようなものか。早速乗ってみることにした。

8月10日、新潟駅6:46の普通列車に乗り、長岡経由で9:40直江津着。いつも改札口付近いるはずの駅弁屋さんがいない。確認すると、感染防止策として駅売りは中止しているとのこと。とはいえ、駅前にあるホテルハイマート前に臨時販売所があり、「二大將軍弁当」を購入した。

直江津発10:18。「柳都shu*kura」新潟行きに乗車。この列車、「新潟の日本酒」がテーマの列車だ。快速なので乗車券と、指定席券があれば誰でも乗車することができる。

2号車のイベントスペースへ。JAZZの生演奏を聴きながら、お酒を楽しむことができる人気の場所だ。普段は人が溢れているが、この日は入場制限があり、1回15分の演奏中には、11名しか入場できない対策が取られていた。

2回目の演奏タイムが予約できたので、売店で生ビールを注文して、お弁当とともに楽しむ。JAZZと車窓風景とお酒。至福のひとつだ。駅弁の中身は鱈(たら)飯と鮭飯。鱈は、たらこ・酢漬け・甘煮。鮭は焼物、いくらなどがのっており、酒の肴としても最適だ。

アテンダントが、サービスの日本酒(おちょこサイズ)を運んできてくれる。よく冷えていておいしい。お酒を日本酒(雪男)に替えて、久しぶりの電車旅を楽しんだ。

乗客たちは、皆マナーを守って節度のある飲み方をしていた。withコロナの時代。以前と比べれば窮屈な電車旅になるが、ルールを守って旅を楽しみたい。



日本海沿いに行く

JAZZの生演奏

生ビールと二大將軍弁当